こもれび VOL.16

ねりまの駅めぐり 16駅目
氷川台駅
東京メトロ有楽町線
次は練馬高野台駅

落ち着いた街並みが風情を感じさせる氷川台の街。現在は賑わう駅周辺もかつてはのどかな田園地帯、石神井川で大根を洗う風景も見られたそうです。

町の歴史を見守ってきた鎮守の森

駅からほど近い住宅街には、地名の由来になった**氷川神社❶**が深い木立に囲まれ建っています。

古くから下練馬村の鎮守として人々の信仰を集めた氷川神社は、社伝によれば石神井川近くの「お浜井戸」のところに、長禄元年（一四五七）に創建されたと伝えられています。お浜井戸は、氷川神社の御神体が流れてきたのを拾い祭った最初の地といわれ、その後、神社が現在地に移ってからは三年に一度の春祭りに、「御神体がお浜井戸までお里帰りする」神輿渡御行列」が行われるようになりました。白装束に烏帽子姿の氏子たちが御神体を神輿に乗せてお囃子や道中歌を歌いながら練り歩き、古式ゆかしい「鶴の舞」が演じられるこの行事、次回は来年の春に行われます。是非見たいものですね。

静かな境内には、区内最古の狛犬や区内唯一の角柱型水盤など史跡も多く、歴史の香りを漂わせています。

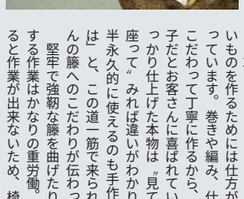
▶天明7年（一七八七）銘の狛犬は巻毛も短く端正

●氷川神社（氷川台4-47）

路地に息づく伝統の技

氷川台商店街近くの下町を思わせる細い路地の一角で、江戸の伝統工芸の一つ、「籐工芸」を製作している**高橋籐製作所❷**を訪ねました。

ご主人の高橋護さんは練馬区では唯一人の、東京でも数少ない籐工芸の職人です。籐との出会いは中学3年の時。夏休みに隣家の籐工芸職人の所でアルバイトをしたのが始まりで、卒業と同時に弟子入りしたそうです。この道50年になる高橋さんのオリジナル作品、足台付「三つ折椅子」は、匠の技が光る逸品といわれています。


▼▶リクライニングもできる三つ折椅子

東南アジア原産の籐が日本に入ってきたのは、中国との交易が始められた室町時代から。初めは武具や建材、江戸時代には編笠や筆、笛の部材に使われ、明治以降は椅子や敷物、枕、乳母車などの生活用品として広まりました。

「畳で生活する日本では、西洋の堅い木の椅子より、軽くて丈夫で温かみのある籐椅子が好まれたようですよ」と高橋さん。昔から高級品のイメージが強かったため、一般に普及したのは戦後からとか。昭和50年代に籐が流行すると、国内での生産が追いつかず、次第に東南アジアなど海外で加工した輸入品が入るようになりました。「おかげで、安い輸入物に押されて、手作りの籐工芸品が売れず、職人も減少し問屋も潰れていきました」と高橋さん。

消え行く籐工芸を保護していく目的から、昭和61年（一九八六）に東京都の伝統工芸品に指定されました。

●高橋籐製作所（氷川台4-23-4）
◆氷川台駅下車徒歩10分
◆商品は通信販売または注文販売。修理やリフォームも受けています。
◆詳細は要問合せ ☎(3931)8641

▲巻きの作業に力がこもる高橋護さん
◀椅子の裏側にも、頑丈にするための工夫が施されています

まちのオアシス 城北中央公園

暖かい陽射しに誘われて、**都立城北中央公園❸**まで足を延ばしました。

練馬区と板橋区にまたがる広大な敷地には、野球場や陸上競技場、テニスコートやサイクリングコースなど運動施設が充実。スポーツに汗を流す人、犬の散歩や散策をする人など、公園での過ごし方はさまざまです。

園内には、奈良時代の竪穴住居跡を復元した「栗原遺跡」もあります。また、武蔵野の面影を残す緑豊かな公園は桜の名所としても知られ、花見シーズンには大勢の人で賑わいます。

春の到来も間近、お花見がてら一度出掛けてみてはいかがですか。

▲春には満開の桜で染まります

◀栗原遺跡の竪穴住居跡

●都立城北中央公園（氷川台１丁目他）

新鮮な朝採り野菜を食卓に！

石神井川沿いの風景を楽しみながら、正久保橋近くの**JA東京あおば総合園芸センターふれあいの里❹**に立ち寄りました。ふれあいの里では、練馬区内の農家で作られた野菜や花、植木、園芸資材などを販売しています。

野菜直売所では、朝採り野菜が色とりどりに並び、紅大根やハヤトウリなどスーパーでは見かけない珍しい品も。どの野菜にも生産者の名が書かれ、壁には農家の方の写真やメッセージが貼られています。生産者の顔が見えるって、安心ですよね。

「畑から直送の野菜が皆さんを待っています。練馬産の野菜の美味しさを是非たくさんの人に味わって欲しいですね」と話されるのは所長の加藤武男さんです。日曜や祝日には人気商品に行列ができるほどの賑わいとか。毎月イベントも多く、3月には〝ふれあいの里5周年記念感謝セール〟を開催予定です。お楽しみに！

これからは春野菜が美味しい季節、採れたての新鮮野菜を食卓にどうぞ！

●ＪＡ東京あおば ふれあいの里（桜台3-35-18）
◆氷川台駅下車徒歩3分
◆営業時間／9時～17時
◆定休日／月・火（祝祭日は営業）
◆問合せ ☎(3991)8711

▲季節の花フェアーも開催

▲▶サラダにすると美味しい紅大根やラディッシュ

インプラント 入れ歯 専門研究所 併設
●日曜診療＊夜間診療●
（平日は夜9:00まで日曜は午後2:00まで診療）忙しい方にも対応しております。
診療時間

時間 / 曜日	日	月	火	水	木	金	土
10:00～14:00	○	○	○	休診	○	○	○
16:00～21:00	休診	○	○	休診	○	○	○

休診日 ＊ 水曜日・祝日

◆院長プロフィール◆
・東京医科歯科大学歯学部卒業・インプラント科・補綴科・審美外来出身
◆副院長プロフィール◆
・東京医科歯科大学歯学部卒業・保存科・ムシ歯外来出身
◆矯正医プロフィール◆
・東京医科歯科大学歯学部矯正科出身・矯正指導医・認定医
吉田デンタルオフィス
東京医科歯科大学附属病院提携歯科医院
＊一般歯科＊矯正＊口腔外科＊インプラント＊入れ歯＊ホワイトニング相談＊
各種保険取扱い Tel.03-3992-8888
練馬区豊玉北6-3-7USビル2F 練馬区役所ノバ本

INFORMATION

ご案内 建築無料相談をご利用ください！

★毎月第4月曜 練馬区役所内で開催

お住まいに関する様々なご相談（新築・改築、苦情、工事業者とのトラブル、公的融資や耐震診断に関することなど）に専門の建築士が無料でお応えします。

どうぞお気軽にご活用下さい

次回 2月28日(月) 区役所 本庁舎1階・臨時窓口
次々回 3月28日(月) 区役所 本庁舎19階・1907会議室
時間 午前10時～12時 午後1時～4時

【主催】社団法人東京都建築士事務所協会 練馬支部 ☎・Fax(3920)9901

どうぞお気軽に まちづくりに関する 相談・支援事業のご案内

公社では、区民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援・促進していくため、次のような事業を行っていますので、お気軽にご活用下さい。

■まちづくり相談室の開設

まちづくりに関する様々なご相談に対応するため、相談室を開設しています（平日9時～17時）。特に専門的な立場からのアドバイスが必要な場合には、まちづくり専門員が対応いたします。

ご相談にあたっては、事前にお電話下さい。

■まちづくり専門員の派遣

「地域でこれからまちづくりの検討を始めるので勉強会を行いたい」など、専門的な指導・助言が必要な場合には、まちづくり専門員を派遣します。

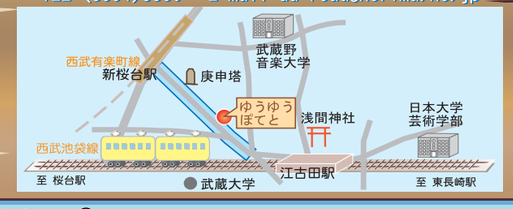
問合せ (財)練馬区都市整備公社 まちづくり推進課 ☎ (3993) 8011 Fax (3993) 8070

まだまだあります 商店街でやっていること！

特集 魅力とにぎわいのある商店街

江古田ゆうゆうロード

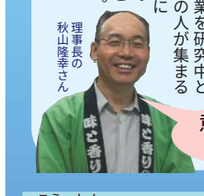
TEL (3994)3380 E-mail uu-road@nerima.ne.jp



新しい事業を始めるのはもちろん、熱心に活動し続けることは大変なもの。その秘訣を、理事長の秋山隆幸さんに伺いました。

「役員の姿勢が違います。月2回の役員会には、毎回ほぼ全員が出席してます。また、みんなが意見を出しやすい雰囲気を、作り出しているんですよ。若い理事の意見も活用しないといいものにはなりませんから。自分の発案した事が実現すると楽しいから、みんなが来てくれるんでしょうね」

現在、モデル商店街育成支援事業として、高齢者を対象にした事業を研究中とのこと。大勢の人が集まる事業を行なうには、みんなの意見が欠かせないのですね。

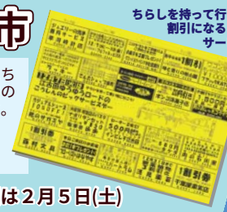

理事長の秋山隆幸さん

意見を出しやすい雰囲気が 活発な活動を生み出す秘訣

庚申の日 夕市

商店街の中央にある庚申塔にちなんで、60日に1度の「庚申の日」に夕市を実施しています。

※庚申の日とは、十干の庚（かのえ）と十二支の申（さる）を組み合わせた日


ちらしを持って行くと割引になるサービス

次回は２月５日(土)

◀明和２年（1765年）に建てられた

庚申信仰では、庚申の日、人の体内にいる三尸虫（さんしちゅう）が人体を抜けて、天帝にその人の悪事を告げると信じられています。江戸時代には、皆が集まって一晩中起きていようと講が結ばれ、酒宴なども行なわれました。この行事が続いたのを記念して作られたのが、庚申塔です。

庚申塔

ゆうゆうぽてと

空き店舗活用で 子育て支援 してます

NPO法人「保育サービスぽてと」が運営

練馬区で、空き店舗対策事業として商店街を、子育て支援事業としてNPOを支援しています

平成16年5月にオープンしたばかりの「ゆうゆうぽてと」は、商店街の空き店舗を、地域で不足していた放課後児童の居場所として活用しています。

なぜ商店街で子育て支援？という疑問に「若い人が来てにぎやかになるので、商店街のイメージが良くなるんですよ」と商店会理事長の秋山さん。施設長の片岡さんは、「商店街の全面協力で施設も希望通りのものになった」といいます。「子どもたちがナイトバザールに参加したり、困ったときには商店街の人が応援してくれたり」と、商店街と子育て支援の相性は良いようです。

放課後児童のひろば

★月～金の放課後
★夜８時まで
★土曜・学校休業日は朝８時から
★半日、一日単位でも利用可
★平成17年度受付は１月15日(土)～

小学校４年生までの児童対象

ほっとステーション（一時預かり保育室）

★火・木・金 10時～14時
★学校休業日はお休み
★１回 2,000円（保険料込み）
※事前に登録、予約が必要です

０歳児から就学時前対象

問合せ ☎/FAX 5999－9691 練馬区栄町35－７サンヒルズ201

盆踊り

◀青年部でジュースや焼きそばも販売

毎年７月に開催している商店会主催の盆踊り大会。約30年も続き、毎回５千人もの人が集まるそうです。

朝市

６月と11月の年２回、朝７時～９時と各商店の開店前に実施しています。ゲームや餅つき大会なども行なわれ、毎回たくさんのお客様で、にぎわっています。

妙延寺

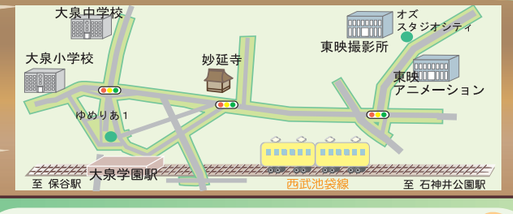
永禄11年（1568年）に開かれたという妙延寺。境内には、朱塗りの山門、題目供養塔、万霊塔、稲荷小祠などがあります。草創時代の樹木と伝えられるイチョウは、樹齢400年余の大樹です。

朱塗りの山門▶

盆踊りと朝市の会場になっている

東大泉商栄会

TEL (3922)0271 E-mail info@oizumi.gr.jp



映画とアニメで商店街の活性化を！

「昔から撮影所やアニメの会社があって関係者が多く住んでいますし、畑や桜並木など緑も多いので、そういう特徴をとらえた商店街づくりをしていきたいんです」と、会長の加藤昭治さんは言います。

現在、映画とアニメの商店街活性化委員会を作り「まち歩きをして問題点を探し出したり、利用者アンケートを行ったり、会員の意見を吸い上げたり、見直しを行なっているのだそうです。

「役員の中心が30代・40代前半と若く、何事にも前向きで、決まったら一生懸命やるんですよ」と、活性化委員長を務める松本賢一さん。「子どもが安全で安心して親しめる商店街にしたいですね。子どもが親しめれば商店街の将来は明るいですから」と意欲的です。

より魅力的な商店街へと変わる今後も楽しみです。

映画とアニメの商店街活性化委員長の松本賢一さん

会長の加藤昭治さん